



西台中学校の取組

10月28日、子どもたちの歌声が西台中学校の体育館に響き渡りました。保護者、地域の皆さま、温かく見守って下さりありがとうございました。また、各教科の展示作品に対する高い評価、部活動の発表へのご声援もアンケートなどから感じております。本当に感謝しております。10月に入り、感染症が校内でも蔓延し、学級閉鎖などの対応から、十分な合唱練習ができない学級・学年がありました。当日、指揮者や伴奏者が欠席となり、不安な気持ちになりながらも練習の成果を披露していました。演劇部は、練習できなかった仲間のことを考え、多くの部員が参加できるように、脚本を数日前に子どもたちが新たに作り直したと聞いています。そのような裏話を聴くと、「努力は裏切らない」という言葉を子どもたちが実践してくれたと感じます。このような状況で実施した文化発表会でしたが、子どもたちが満足できる行事であったことは校長として、とても嬉しく思います。この経験を活かし、西中の子どもたちが、今後も、自分のため、他人のために力をつけて欲しいと思います。

さて、私が着任して、8か月が過ぎようとしています。校長になり、実践したいことはたくさんあるのですが、11月より下記2点について実施いたします。

① 放課後学習教室 開設

すでにご案内していますが、11月2日から週1回木曜日に「寺子屋ND」として、学習教室を開始しました。保健室の山上先生が学校スタッフの中心となりますが、実際の学習指導は、「NPO法人テラコヤ」の中で活動している「テラコヤ 中等部」所属の高校生の皆さんが行っています。西中では、夏休みの補習教室を支援してくれていて、今回もお手伝いしていただくことになりました。今年度は、週1回の実施を予定しています。今後回数を増やせて行けたらと考えています。途中からの申し込みも可能なので、希望者は、山上先生や担任の先生に声をかけてください。

② 学校に子どもたちの居場所をつくれます

現在、日本全国に、学校に来られない、クラスに入れない子どもたちがたくさんいます。西中にもそのような子どもたちがいて、その理由はいろいろです。そのような子どもたちも、西中の大切な生徒。教室に行けなくても、学校に通い、自分に合った学びを進めることができる、そのような環境を整えることとしました。今までも西中の先生方で対応をしていましたが、どうしても対応できる時間が限られてしまいます。そこで淑徳大学と提携して学生ボランティアの方々に運営を協力していただきます。11月27日から開始したいと考え、当面は週3日ほどの開設になります。もちろん、いろいろな子どもたちがいますので、強制はしませんし、子どもたち一人一人に合った居場所にしたいと思います。

上記内容は、昨年度の学校評価保護者アンケートの自由意見欄にあった内容でもあります。この取組を維持していくためには、学校だけでは限界があるため、外部機関、地域との連携が必要不可欠です。放課後学習教室の回数を増やすため、居場所づくりの日数を増やすために、ご協力できる方がいましたら、学校までご連絡ください。これからの西中生のために、よろしく願いいたします。

生徒の活躍

WEBページのため個人名は削除します

- 英語部 板橋区英語のつどい プレゼンテーション部門 第2位 「Quiz show II」
卓球部 板橋区新人大会個人戦 (下記生徒6名が都大会に出場)
第3位 さん 第5位 さん
さん: さん: さん: さん
演劇部 板橋区中学校演劇発表会 優秀賞
国語科 第34回 伊藤園おーい お茶 新俳句大賞
中学生の部 優秀賞 さん
「冬茜 非常口は どこにもない」
中学生の部 佳作 さん
「持久走 お願いだから 雨降って」
書道 板橋区民文化祭区民書道展 板橋区書道連盟大賞 さん

文化発表会の思い出

展示部門編

